

平成 27 年度 学問発見講座

2年生全員を対象とした進路関係の行事として、「学問発見講座」が11月20日（金）の午後を実施されました。これは、実際に大学の先生方に来ていただいて専門分野の講義や研究内容の紹介をしていただくことで、大学や学問についての理解を深めることを目的とした行事です。今年度は、次の11講座を開講しました。

講座をご担当いただいた先生方からは、「とても熱心に受講する姿に感動した」「質問も的確で、内容を理解してくれていることが確認できた」など、大変あたたかいお言葉をいただきました。中には藤島のOBの方も何名かおられて、OBならではの目線から、後輩に向けたメッセージを残していただきました。先生方には大変お忙しい中、前もって講義の準備をしておさっており、感謝の気持ちでいっぱいです。

自分や家族のためだけでなく、世界中の人のため、そして日本の将来のために、日々の勉強に取り組み、卒業後の進路に向けて前向きに取り組んでほしいと考えています。

【講師一覧】

	学問領域	所属・職名	氏名
①	国際学	金沢大学 国際学類 准教授	古泉 達矢 氏
②	教育学（歴史学）	福井大学 教育地域科学部 社会系 准教授	長谷川 裕子 氏
③	法学	一橋大学大学院 法学研究科 教授	葛野 尋之 氏
④	経済学	福井県立大学 経済学部 教授	原田 政美 氏
⑤	医学（内科）	福井大学 医学部 内科学講座 講師	鈴木 仁弥 氏
⑥	医学（外科）	福井大学 医学部 救急医学講座 准教授	木村 哲也 氏
⑦	薬学	金沢大学 薬学類・創薬科学類 准教授	北村 正典 氏
⑧	理学	京都大学大学院 理学研究科 化学専攻 教授	竹腰 清乃理 氏
⑨	機械工学	東京大学 生産技術研究所 教授	大岡 龍三 氏
⑩	建築工学	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 教授	元結 正次郎 氏
⑪	情報工学	名古屋工業大学大学院 工学研究科 准教授	黒柳 奨 氏

【各講座の様子】

① 国際学



今回お話を聞くまで、国際学というのは他国の言語を学んでその国に行って学んだり、将来の仕事に活かしたりするものだと考えていましたが、言語を学ぶだけでなく、世界各国のそれぞれの歴史を細かく知り、その上で各国の人々の自らの国の歴史に基づく考え方を知ることであることが分かりました。これからは国際化がどんどん進み、きっと将来世界の人々と関わることがあると思うので、話す相手の国の歴史や日本の歴史について、しっかり知識をもっておきたいと思いました。

② 教育学（歴史学）



教科書には歴史のほんの一部しか語られていなくて、やはり歴史というものは自分で調べて考えないと、全部をうのみにできないのだと感じました。歴史というのはいろんな人がいろんな観点で様々な資料を読みとっていくのが魅力であり、僕はその歴史を学ぶ上で知ることができたいろいろな観点から教育のあり方や仕方というものを学んでいきたいと思いました。

③ 法学

「少年法の引き下げ」という議題で講義をしてくださって、僕が思い知らされたことは、僕たち国民の偏見のために、効率的・公正でない世論が発生しているということです。もともと少年法というのは未発達な少年を「更生させ社会復帰を助ける」ために存在しているのに、偏見だけで無知な僕たちは「このようなひどい少年には罰を与えよ」などと口にしていると考えると、恥ずかしさを感じました。もっと国民に少年法の在り方や少年院でなにが行われているのか、少年にされるべき教育とは何かをしっかりと理解してもらい、そうした中で世論をとるのがよいのではないかと思います。



④ 経済学



経済史の研究ということで、研究は理系のイメージが強かったのですが、文系の研究でもこんなに深く学べることがあるのかと驚きました。最近、日本人研究者が世界に知れ渡る偉大な賞を受賞されたとき「この賞は周りの人々のおかげである」というコメントをされていたのを、原田先生が「研究は顔も知らないような人とも情報を共有し、個人ではなく仲間のおかげで成り立っている」というお話で思い出しました。また、先生が用意してくださった資料には漢文や英語が使われており、様々な教科につながっていることに驚きました。これからはより向上心を持っていろいろな分野のことを積極的に学んでいこうと決めました。

⑤ 医学（内科）

生物の授業で習った事柄をさらに深めることができました。先生の話すトピックの中では、原因があって結果があり、因果関係が連鎖していて、現代の医学の理論的さを感じることができました。また、100年前のインスリンの発見によって、糖尿病の子供たちが病から救われた事例を聞いて、なんて素敵な職業なのだろうと思いました。その事例が、今まで医学が社会の貢献してきた中のほんの一例であると思うと、胸の高鳴りを感じます。

この講演を日々の勉強のモチベーションにして、第一志望合格を勝ち取りたいと思います。



⑥ 医学（外科）



最も印象に残っているのは「良医」すなわち医師のあるべき姿に関するお話です。患者さんが医師に求めていることは、雰囲気、十分な説明、患者さんの話をしっかり聞くこと、気持ちの考慮だと改めて分かり、医師という仕事は患者さんの側に立って考えることがとても重要視されていると認識でき医師に対する印象がまた少し変わりました。また、腕とやる気と共感と冷静さが信頼を得るには必要だというお話に医師のみならず、様々な場面で意識すべきことだと思い大変参考になりました。

⑦ 薬学

研究は勉強と違って、何もないところから始める、0から1にすることだ、という言葉が頭に残りました。研究をして、何か新しいものを生み出すには、まず土台となる豊富な知識が必要で、それはまさに今、私たちが毎日高校で学んでいるものだと思います。だから今やらなければならないことをやらずに怠っていると、大学への進学後、就職後までも影響してくると思うので、今やるべきことをしっかりしようと思いました。



⑧ 理学



私は理学部化学科に進学したいと考えているので、今回のお話を聞いて、進路を決める参考になりました。演題である「分子を見る」の講義では、初めに「見る」ということでした。私は特に走査トンネル顕微鏡に興味を持ちました。それは探針の先端が試料の表面上を通ることによって分子がどのようなものか見えてくる、というのが面白いと感じたからです。分子をひっくり返したり、うまくいけば運んだりすることもできると聞いて、とてもワクワクしました。今日学んだことを今後の進路決め役に役立て、さらにモチベーションにしたいと思います。

⑨ 機械工学

工学分野の研究だけれど、入りが気候変化ということで不思議な感じがしましたが、話を聞いていく中で、あまり関係がないように思える分野というのが一番重要なのかなと思います。僕も昔は「工学=つくる」というイメージでしたが、今回のお話にあった建築のように人間の発展のための工学だけでは長くやっていけない、その発展を環境にも人にも最適な方法で続けることができ初めて「つくる」という作業が始まるのだなと思いました。



⑩ 建築工学



今回の講演では、コンピュータの便利さに驚き、とても興味深かったです。また実際に、シャープペンシルの芯やストロー、紙コップを使った実験では、こんなに身近なものが大きな建物の安全にも関わることを考えると、もっとたくさんを知りたいと感じました。最後に、建築家は社会において、あらゆる部門の仕事の方たちと一生懸命一つの建物を作り、それが完成したときの喜びが嬉しいとおっしゃったとき、私もその一員になりたいと強く感じました。今勉強していることが、将来どの分野でも役立つと信じて、頑張っていきたいと思います。

⑪ 情報工学

今回のお話を聞いて、大学では授業の内容も研究の内容も難しそうではあるけど、それ以上に興味深くて、スライドから目を離すことができませんでした。「人工の耳」の話をもっと詳しく聞きたかったです。情報工学の面白さがとても伝わりました。

また、これから夢に向かって生きていく私たちに対してのアドバイスを聞くことができ、とてもためになりました。「今やりたいこと」よりももっとやりたいことが出てきたときに「移ることを恥ずかしくない」という言葉が印象的です。このことを大切にしながら生きていきたいと思います。

